

「ミルククラウン (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

地球上から天体を撮影する場合、大気のゆらぎで画像が歪むが、何百枚かに1枚、そのゆらぎがほとんどない一瞬が撮れることがある。これを「ラッキーイメージ」と呼ぶ。今回の「ミルククラウン」も同じで、わずか0.1秒未満の間に起きる現象を、普通のカメラで確実に捕えるには、シャッタータイミング、露出、ピントなど、すべてが合った「ラッキーイメージ」である必要があるのだ。



左写真は、相当にラッキーイメージに近づいている。しかし、ミルククラウン特有の、円周状の水滴が見られない。



その後も50回近くの実験と連写を繰り返し、ついにその中からラッキーイメージを見つけ出した。上の写真は、ほぼ真横から撮影したものである。牛乳膜がつくる「王冠の壁」が実に美しい。水面に反映した姿も見事に写っている。



左写真が、今回のベストショットである。撮影した枚数は約1100枚。原始的な方法であるが、それでもこれだけ美しい一瞬をとらえることができる。

この現象は、牛乳の持つ適度な粘性と、表面張力が創り出すものである。牛乳には及ばないが、水でも似たような現象が起きる。雨の一粒ひと粒が地面に落ちる時も、実はこんなドラマがかくれているのかも知れない。